



心がそろった風景

新しい年が始まって一週間が過ぎました。校内では、“心がそろった風景”が見かけられます。

自転車置き場では、ヘルメットがきちんとくりつけられた自転車が真っ直ぐに並んでいます(写真左)。きっと交通ルールやマナーも守られていることでしょう。生徒玄関では、くつ箱にきちんと整頓されたくつが並んでいます(写真中央)。かかとを踏んづけたくつはありません。1階のくつ箱には、右のような詩も掲げられています。

自転車やくつがそろっているということは、そこで生活している人の心がそろっているということです。小さなことにも全力で取り組んでいる証です。とても気持ちのいい光景です。

校庭の桜は散ってしまいましたが(写真右)、笑顔の花はずっと咲き続けてくれることを祈っています。“詫中桜”はいつも満開です。

はきものをそろえようと 心もそろおう
心がそろつと はきものもそろおう
ぬぐどきに そろえておくと
はくどきに 心が乱れない
だれかが乱しておいたら
だまっつて そろえておいてあげよう
そろすれば きつと世の中の
人の心も そろおうでしょう



「食」は、人を良くする

本校は、これまでに「地域に根ざした学校給食推進事業」「栄養教諭を中核とした学校・家庭・地域の連携による食育推進事業」などの文部科学省指定を受け、様々な実践を行ってきました。平成21年度には、全国学校給食甲子園の中・四国代表として出場するとともに、学校給食の文部科学大臣賞も受賞しました。その後も、本校の取組がテレビ朝日「スーパーモーニング」で放映されたり、四国新聞「香川知ってるつもり」に掲載されたりするなど、「食育」は本校の特色ある取り組みとして、高い評価をいただいています。

昨日の給食時、小林栄養教諭から下のような呼びかけがありました。ただ食べるだけでなく、食を通していろいろなことを学ぶチャンスでもあります。「食」という字は、「人」を「良」くすると書くのですよ。

今日は、「給食の約束」について2つお話しします。

1 食べ物の好き嫌いについて

昨年度、好きな物はたくさん食べ、苦手な物は最初から人に食べてもらっている人を見かけました。「食べ物の好き嫌いの多い人は、人間関係においても好き嫌いが多く傾向にある」と言われています。いろいろな食材を体験し、食べられるようになることは、視野を広げ、たくさんの人と人間関係を築いていくことにつながります。さらに、人間関係だけでなく、物事を前向きにとらえることができることにも関係するようです。給食の献立や量は、望ましい食事のお手本です。好き嫌いを助長させる食事ではありません。苦手なものにもチャレンジし、食器に盛られた物は全部食べましょう。

2 食器の扱い方について

昨日、いくつかのスプーンが曲げられて返却されていました。食器を粗末に扱う生徒がいることに対して、大変残念に思います。毎日一生懸命に給食を作ってくださっている調理員さんにも失礼です。給食の食器をていねいに扱うことによって、「物を大切に作る心」を身に付けてください。